

P-1 2月の生活表

2018年12月

聖マリア幼稚園

月主題： よろこぶ

・保育日数 14日

月目標：・ イエス様のお誕生を喜び、聖歌を歌う。

- ・ クリスマスを楽しみに待ち、みんなで一緒に祝う。
- ・ 寒い冬も元気に過ごす。

12月。2018年も最後の月を迎えます。この園にとって大切なクリスマスをお迎えします。花組から緑組の子ども達それぞれが、自分に与えられたお役でイエス様のお誕生をお祝いいたします。子ども達全員でお迎えするこのクリスマスは、在園生・卒園生とそれぞれの保護者・祖父母の皆様、またこれからこの園に来てくださる親子の方々、全ての方と共に祝いするのです。その中には、日本のみならず神様が創造された世界にまたがり、この場で出会ったひとびとを含みます。神様から「命」をいただいたことへの大きな感謝と私たちの為においでくださった神様のお独り子のイエスさまは、ページェントの「イザヤの予言」の説明にもあるように、「神様を知らないで悪いことをしたり、間違ったことを考えたり、苦しんだり・・・を救うために人間の中に赤ちゃんとしてお生まれになった」のです。人間はお誕生日を迎えると大いに喜び、プレゼントをいただき、また新たな日々の為に成長をしようと試みます。でもいつの頃からか、自分の実年齢を言いたくなくなるのは、いつまでも若くありたい、年齢を重ねたくない等々の想いが交錯するのでしょうか。でも、そう言いながらも年齢を重ねていくのですね。年齢を重ねるといことは、一年一年経験が増えるか、いえ、自分のことよりお子さんの成長を目の当たりにして寂しさを感じるのか、喜びを感じるのか、ひいては感謝へと繋がるのか、自分の老いを考えてしまうのか？ともあれ、11月の様々な「感謝」に続いて、全てのことについて「感謝」することの一番の大切な「感謝」をこの12月にお迎えいたします。

Pre-preの子ども達にとってのクリスマスは、サンタさんからプレゼントを頂くことを喜び、「そんなことをしていたら、サンタさんはきはらへんえ！」と言われて、少なくともこの時期だけでもお利口にしなければと思うのですね。町のあちこちでは、クリスマスソングが流れ、心ウキウキしますね。そんな中、この園で自然と大きい組のお友達が歌うクリスマスの歌を聴き、耳から「素敵なお歌」とか「イエス様ってだれ？」と疑問を持ったり、「私たち、僕たちを守ってくれる人？」と自分たちの味方になってくれる人なんだとの認識が少しでも芽生えて来ると嬉しいですね。小さいながらも、見えない人が守ってくれているということはどんなこと？と信じることへの第一歩そして、愛してもらっていると感じる第一歩として、クリスマスがお迎えできれば嬉しいですね。

《 チャプレンコーナー 》 12月

月聖句：学者はその星を見て喜びにあふれた。（マタイによる福音書 2：10）

遠路はるばる東の国から旅をしてきた占星術の学者たちは、不思議な星に導かれ、ユダヤの国までやってきました。この星が表れたのは、「真の王が生まれる」との知らせ。星はイエス様が生まれた家まで学者たちを導き、彼らは真の王、人類の救い主であるイエス様に会うことができたのです。

クリスマス物語の一場面です。クリスマスは喜びの物語です。けれども状況は、決して喜ばしいものではありませんでした。それどころか「最悪」と言いたくなるような状況だったのです。時の支配者ヘロデ大王は、冷酷な王でした。イエス様が旅の途中でお生まれになったのも、ヘロデが強制的に人々を移動させたからでした。いわば、全国民が「難民」と化しているような状況でした。学者たちは外国人であるがゆえに、民族意識の強いユダヤの国では排斥の対象となっていました。羊飼いは、被差別の職業、イエス様のお父さんのヨセフの職業である大工も、被差別の職業でした。世界帝国ローマの圧迫も強まり、圧政に苦しむ人々の反乱やテロも頻発していました。学者たち、また羊飼いたち、マリアやヨセフが得た喜びは、お金や力など、この世で求められる喜びではありません。彼らが得たのは「希望」でした。これから神様の救いが始まる、これから世界は必ず良くなってゆく、私たちは平和を作り出す力を持っている、これらの希望が彼らに喜びを与えたのです。この喜びは、現状がどれほど苦しくても、決してなくなることはありません。私たちは子供たちに希望を語り、そして希望を持てる未来を与えていきたいと思います。この世の富は消え去りますが、希望は決して消えません。希望は人を優しくし、人々をつなぎ合わせ、ともに歩む力を与えます。深く、広く、愛へと導く真の喜びである希望を、子供たちに与えましょう。

～ おたんじょうび おめでとうございます ～

たなか えいとくん 12月25日

* 12月から新しいお友だちが入会されます

田中 瑛人くん（2016年12月25日生まれ）です。よろしく！

<生活指導>

◎ 自然の移り変わりに目を留めてみましょう。

・風の冷たさ、音、樹々の変化、山の色の変化、登降園途中の様々な発見を大切にし、冬の訪れを感じてみましょうね。

◎ 自分で出来る事は自分でやってみましょう。

・寒くなると上着を着る機会が多くなりますね。ジャンパーのボタンやファスナーが自分で出来るように練習してみましょう。出来ない時には『〇〇して下さい。』とお願いのことが伝えられるといいですね。

◎ 健康管理に留意しましょう。

・帰宅後の手洗い(指の間・手の平と甲・手首)をしっかりさせてみましょう。
・暖房器具が活躍する季節になりました。換気と乾燥に気をつけましょう。
・子ども達の肌の感覚(汗をかく、冷たい風に当たる)を養いましょう。

◎家の中で、お手伝いができると嬉しいですね。

・年末には、子ども達も家族の一員として子どもが出来る範囲のお手伝いをして、責任が果たせるように話し合ってみましょう。

◎年末年始には、隣近所の方としっかりご挨拶が交わせるようになりましょう。

<担任から>

長かった2学期もあと3週間で終わろうとしています。新しいお友達を迎えて増々賑やかになったプレプレクラスの子供達。初めは「ママ～」と泣いてお母さんと離れられなかったお友達も、今では「バイバイ」と手をふって離れられるようになりました。

朝のご用意もお母さんと一緒に出来るようになって、それがお帰りの用意にもつながり、自分で出来るようになってきました。少しずつですが自分でやろうとがんばっている子ども達です。お家でも時間がかかって大変かもしれませんが、是非つきあってあげてください。今しかない貴重な時間だと思います。

そしてもう1つ、今何人かのお友達がイヤイヤ時期まった中のプレプレちゃん・・・今までならすんなり出来ていた事が出来なかったり、わざとしなかったり、泣いたりわめいたり・・・

それは それは大変です。「なんでこんなことになるの?」「どうして言うことを聞いてくれないの?」等々、マイナスに考えてしまう事も多いと思いますが、子供が次のステップに成長しようとしている大切な行動だと思って受け止めてあげてください。もがきながら殻を破ろうとしているのだと思ってどんと構えてあげてください。いつか「あんな事もあったなあ」となつかしく思える日がきっと来ますから。色々な願いを込めて、子ども達の成長に感謝しながら一年を締めくくりたいと思います。どうぞよいお年をお迎え下さい。